

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2012-37227(P2012-37227A)

【公開日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-170602(P2011-170602)

【国際特許分類】

|         |       |           |
|---------|-------|-----------|
| F 2 2 B | 37/38 | (2006.01) |
| F 0 1 D | 25/00 | (2006.01) |
| F 0 2 C | 6/18  | (2006.01) |
| F 0 2 C | 7/00  | (2006.01) |
| F 0 2 C | 9/00  | (2006.01) |
| F 2 8 B | 11/00 | (2006.01) |

【F I】

|         |       |   |
|---------|-------|---|
| F 2 2 B | 37/38 | F |
| F 0 1 D | 25/00 | V |
| F 0 1 D | 25/00 | W |
| F 0 2 C | 6/18  | A |
| F 0 2 C | 7/00  | A |
| F 0 2 C | 9/00  | A |
| F 2 8 B | 11/00 |   |

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

タービン(16、34)から熱交換器(26、40)内へと至る流体流路内の複数の導管(60)に向けて視野(74)を配向するように構成された放射検出器アレイ(52)であって、各々が複数の導管(60)の異なる領域の向かって配向された前記複数のサーモバイル素子(98)を備え、前記複数の導管(60)により発せられる熱放射に基づいて前記流体流路の多次元温度プロファイルを示す信号を出力するよう構成された放射検出器アレイ(52)と、

前記放射検出器アレイ(52)に通信可能に結合されており、前記信号に基づいて前記流体流路全体の温度変動を判定し、前記温度変動と閾値とを比較するよう構成されたコントローラ(54)と、

を含む、システム(10)。

【請求項2】

前記複数の導管(60)により発せられる前記熱放射を前記放射検出器アレイ(52)上に集束するように構成された光学合焦装置(70、72)を含む、請求項1に記載のシステム(10)。

【請求項3】

前記光学合焦装置(70、72)が、鏡(72)、レンズ(70)、及びこれらを組み合わせたもののうち1つから成る、請求項2に記載のシステム(10)。

**【請求項 4】**

前記放射検出器アレイ（52）と前記複数の導管（60）との間に設置された帯域フィルタ（68）を含む、請求項1に記載のシステム（10）。

**【請求項 5】**

前記放射検出器アレイ（52）が、赤外線スペクトルの範囲内の波長を有する熱放射を検出するように構成された、請求項1に記載のシステム（10）。

**【請求項 6】**

前記コントローラ（54）が、前記複数の導管（60）のうち少なくとも1つの温度と前記流体流路の平均温度との差に基づいて前記温度変動を判定するように構成された、請求項1に記載のシステム（10）。

**【請求項 7】**

前記コントローラ（54）が、第1の導管（60）の温度と第2の導管（60）の温度と差に基づいて前記温度変動を判定するように構成された、請求項1に記載のシステム（10）。

**【請求項 8】**

前記タービン（16、34）と前記熱交換器（26、40）とを含むシステムであって、前記タービン（16、34）がガスタービン（16）から成り、前記熱交換器（26、40）が排熱回収ボイラ（26）から成る、請求項1に記載のシステム（10）。

**【請求項 9】**

前記タービン（16、34）と前記熱交換器（26、40）とを含むシステムであって、前記タービン（16、34）が蒸気タービン（34）から成り、前記熱交換器（26、40）が復水器（40）から成る、請求項1に記載のシステム（10）。